

計画の主要な課題について（中間報告）

本市の評価をはじめ、社会経済環境の変化や市民等が思うまちの姿をふまえた本市の課題は次のとおりです。

① 子育て・教育環境の充実

少子高齢化が進む人口減少社会に対応するためには、多様な働き方やワークライフバランスの実現などに配慮し、妊娠期から出産、子育て、教育までの切れ目のない支援を進めていく必要があります。

② 仕事づくりと就業の場の確保

若者をはじめ市民が、安心して定住できるようにするために生活を維持していくことが出来る仕事づくり、就業の場の確保、創業支援等の産業振興策や、利便性の高い交通網や通信環境などの基盤整備を推進する必要があります。

③ 安全・安心して生活出来る環境づくり

誰もがライフステージに応じた健康で充実した暮らしが出来るように、また高齢者等が地域で安心して生活出来るように、地域での連携や包括的な福祉サービス・介護サービスの充実などが必要となっています。

一方、地震や風水害などの自然災害に対して安全な取組や犯罪が少ない安心して暮らせるまちづくりを進めていく必要があります。

④ 豊かな緑や自然環境に包まれた良好な生活環境の充実

都会にはない豊かな緑や自然環境を活かし、健康で豊かなライフスタイルが実現できるように、また生活環境・景観の整備や利便性が高く環境にもやさしい生活が実現できる魅力的な定住機能の充実を図っていく必要があります。

⑤ 誰もが生きがいを感じ活躍できる社会の構築

ライフスタイルの多様化や高齢者の増加に対応し、誰もが生きがいを感じ、様々な分野で活躍できる機会があり、充実した暮らしが出来る取組みを広げていく必要があります。

⑥ 都市の活力向上と魅力発信

また市民の生活や産業活動を支える都市基盤の整備や各種産業の振興、文化芸術活動や生涯学習活動の推進などにより都市の活力を高めるとともに、自然豊かで歴史文化に恵まれた圏域のまちとして、また緑豊かで住みやすいまちとして本市の魅力を発信し、観光交流や定住地として選ばれる都市づくり、地域づくりを進めていく必要があります。

⑦ 持続可能な市政運営の推進

今後、厳しい財政状況が予想される中で、市民の多様な行政ニーズに対応し、持続可能な市政運営を進めていくために、施策の選択と集中、及び効率的で効果的な行財政運営を進めていくとともに、広域連携の推進や市民協働をより一層推進していく必要があります。